

2008 環境アセスメント学会第7回研究発表 執筆要綱

Guidelines of Research Papers for 2008 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment

環境太郎*, 環境花子**

Taro KANKYO, Hanako KANKYO

Abstract

This Guideline is important when you write the paper for 2008 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment. So, you must check this Guideline carefully.

「キーワード：環境，アセスメント，学会（3～5個程度）」

「keywords：Environment，Assessment，Society（3～5words）」

1. 原稿の書き方

1. 1 体裁

a) 原稿分量

A4 版上質紙を縦長に使用し、上下左右の余白を各 25mm として印字する。1 頁当たり 22 字×45 行×2 段=1980 字とし、図表等も含めて 6 頁以内とする。

b) タイトル、氏名

1 頁目の上部 5 行程度に和文タイトル、英文タイトル、和文執筆者氏名、英文執筆者氏名を記入する。なお、執筆者の所属については「*」を使用し、同頁下 2 行程度に詳細を記入する。

c) Abstract, 要旨

論文の概要を、和文の本論では英文 100～120words 程度、英文の本論では和文 400 字程度で説明する。

d) キーワード

概要の後に、論文内容を的確に表現するキーワードを 3～5 個程度記入する。

e) 言語

冒頭のタイトル、氏名、キーワードはそれぞれ日本語と英語で書く。原稿は和文又は英文で作成する。

f) 印刷

原稿は A4 版がそのままの大きさに印刷される。

g) 章、節、項

章、節、項の見出しは、次のように統一する。

章：1、2、3、…

節：1. 1、1. 2、1. 3、…

項：a)、b)、c)、…

これ以外の小項目はなるべく避ける。また、各章の前後 1 行と各節の直前 1 行はあける。

1. 2 活字

a) 手書き不可

数式、図表中の文字等の手書きも原則として認めない。

b) フォント

フォントは、基本として次のように統一する。

活字サイズ：10 ポイント

和文：MS 明朝体

英文・英数字・記号：Times New Roman 体

表題、見出し、図表等：MS ゴシック体

2. 補注、参考・引用文献

2. 1 補注

補注を必要とする場合「⁽¹⁾、⁽²⁾、⁽³⁾、…⁽ⁿ⁾」の記号で本文該当箇所右肩に示し、参考・引用文献の前に一括記載する。

2. 2 引用文献

引用文献は本文中で引用したものにとどめ、アルファベット順に次の例を参考にして一括掲載する。

雑誌中の論文：著者名（発行年）“論文名。”
掲載雑誌名 掲載巻（号），掲載頁最初 - 最後。
単行本：著者名（発行年）書名。出版社名，
出版社所在地，総頁数。

**環境大学環境アセスメント学部

*環境大学大学院環境アセスメント学研究所

※※※ 送付原稿はPDFファイルで作成して下さい。